

# スーパーパラサーモシリコン

## 標準色見本帳

【全面改訂第1版】

ダブルリフレクションシステムにより、  
優れた遮熱性能を発揮します。  
JIS K 5675認証品



# 標準色

(戸建住宅屋根用推奨色) JIS K5675 2種1級

●この色見本は紙に塗装しておりますので、実際の仕上りとは多少の色違いが生じる場合があります。また、一般塗料で作製しているため遮熱性能はありません。ご了承ください。

## ●クールランク

標準色には、遮熱性を表したクールランクを設定しています。塗り替えをする場合は同色または明るめの色をお選びください。また、色選びの際には地域性や景観に関する条例などにご注意ください。

  
日射反射率  
**80%  
以上**



①エコホワイト  
日射反射率86.5%



②エコペールグリーン  
日射反射率86.2%



③エコペールブルー  
日射反射率86.1%



④エコライトグレー  
日射反射率85.4%



⑤エコソフトグレー  
日射反射率83.4%



⑥エコサンドベージュ  
日射反射率83.1%

  
日射反射率  
**50~80%**



⑦エコベージュ  
日射反射率67.0%



⑧エコブリックレッド  
日射反射率58.7%



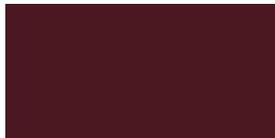
⑨エコマリンブルー  
日射反射率58.7%



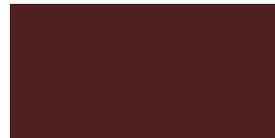
⑩エコラシットレッド  
日射反射率56.2%



⑪エコグレー  
日射反射率54.5%



⑫エコガーネットレッド  
日射反射率53.7%



⑬エコスレートブラウン  
日射反射率52.8%

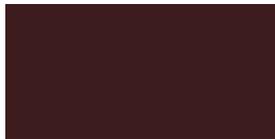


⑭エコマウスグレー  
日射反射率51.6%

  
日射反射率  
**40~50%**



⑮エコディープブルー  
日射反射率49.7%



⑯エコチェスナット  
日射反射率48.6%



⑰エコクラウドグレー  
日射反射率48.0%



⑱エコスレートブラックネオ  
日射反射率47.1%



⑲エコグラスグリーン  
日射反射率47.0%



⑳エコココナッツネオ  
日射反射率46.3%



㉑エコブラックネオ  
日射反射率43.8%



㉒エコオリーブネオ  
日射反射率42.7%

- 上記日射反射率の数値は、下塗りにパラサーモシールド金属プライマー、中塗りにパラサーモシールド中塗を使用した場合の近赤外波長域の値となります。
- 日射反射率の数値は、各仕様や塗装条件、測定機器の種類などにより変動します。
- 色相により遮熱効果(日射反射率)が異なりますので色相の選定には既存塗膜の色相や下地の種類などに注意が必要です。
- 本色見本帳のPDF版をカラー出力された場合、この色見本帳に掲載している標準色とは著しく色の相違があります。PDF版のカラー出力やパソコンのモニターをご覧になってのご注文はお受けできません。標準色の指定および選定、ご注文は必ず現物の色見本帳で確認をお願いいたします。

特長

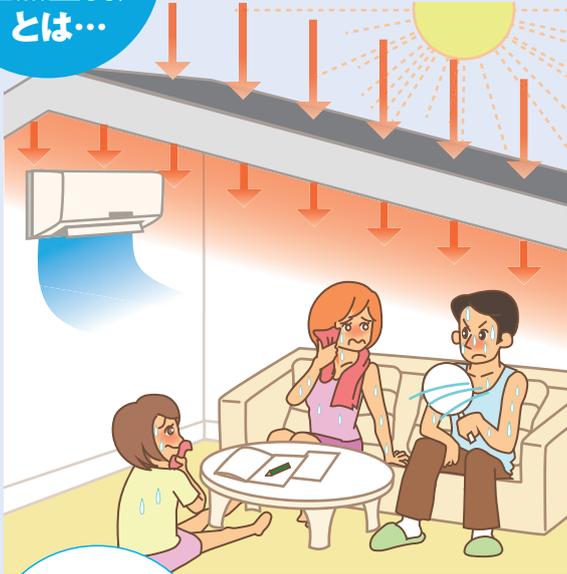
1

## 優れた遮熱性能

太陽光に対する反射率に優れた着色顔料と熱放射率に優れたセラミックに当社独自の技術を融合。各屋根材に施工することにより、室内への熱の侵入を遮断し、温度上昇を抑えることができます。

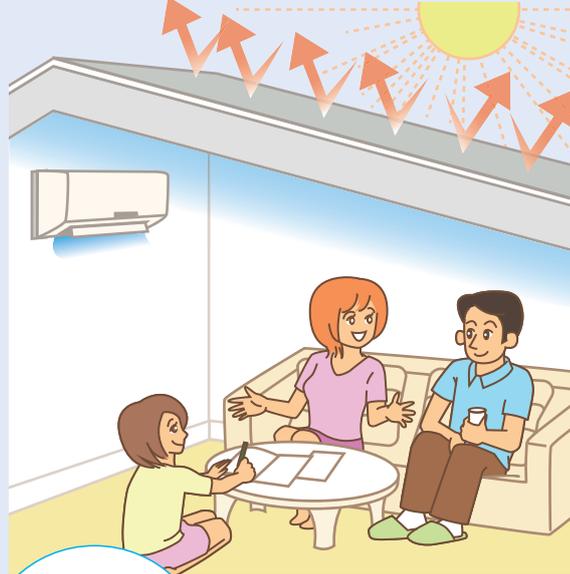
高日射  
反射率塗料  
(遮熱塗料)  
とは…

太陽光線を反射する技術などを用いて  
生活環境での熱対策を目的とした機能性塗料です。



屋根、室内が  
暑くなるのは  
太陽光線(近赤外線)の  
影響が大半。

一般屋根用塗料は太陽光の近赤外線を吸収しやすい(反射効果がほとんどない)ので屋根の温度が上昇します。



高日射反射率塗料  
(遮熱塗料)の塗装で…  
太陽光線(近赤外線)を  
跳ね返す!!!

高日射反射率塗料(遮熱塗料)は太陽光の近赤外線を反射させることにより、屋根の温度上昇を低減します。この反射効果は専用下塗り、中塗りをを使用することでさらに高まります。

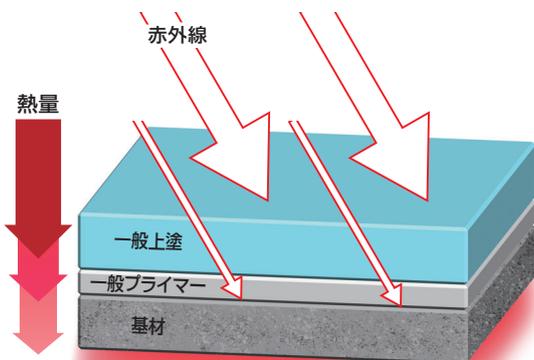
特長

2

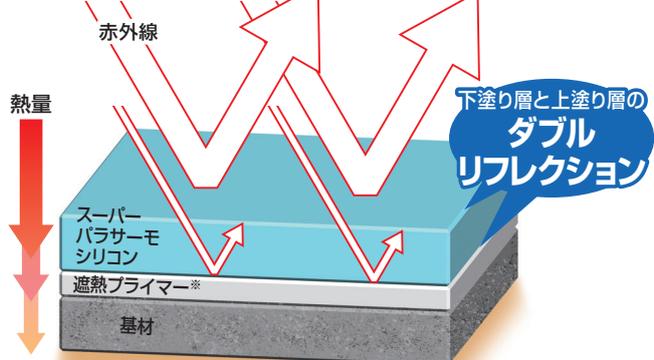
## ダブルリフレクションシステム

赤外線を遮熱上塗りで反射し、さらに、遮熱プライマー層で近赤外線を反射するダブルリフレクションシステムによりさらなる遮熱効果が期待できます。

●一般塗装



●遮熱塗装



※エポラオールプライマー遮熱ホワイト

特長

3

## 優れた耐久性

屋根は太陽光の紫外線を一番多く受ける部位であり、耐久性が求められます。スーパーパラサーモシリコンは過酷な環境で耐えうる航空機用塗料の技術を用い、雨や雪、強風下で抜群の耐久性を発揮します。JIS K 5675の試験においても2種1級と高い耐久性を示しています。

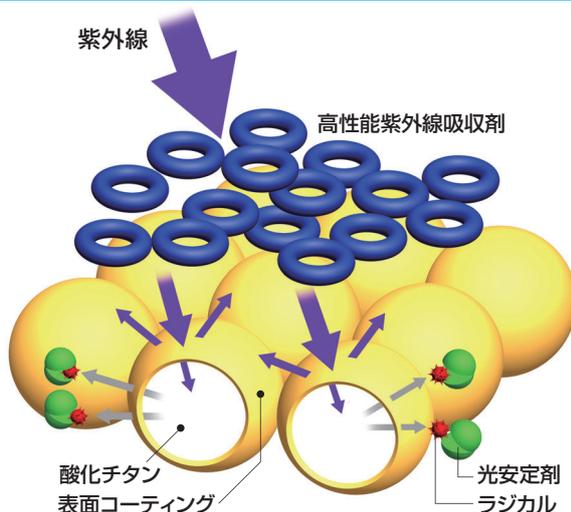
特長  
4

## 独自のラジカル制御で高耐久化を実現

### ●ラジカル制御とは

ラジカルとは塗膜中の「酸化チタン」や樹脂に紫外線や酸素、水分が当たることで発生する活性種で、樹脂を破壊して塗膜の劣化を促進させます。

スーパーパラサーモシリコンは航空機用塗料で培った独自の技術により、まず、ラジカルの発生原因である紫外線の大半を高性能紫外線吸収剤で吸収し、次に、すり抜けた微量の紫外線によって発生したラジカルを、光安定剤で捕捉して無害化します。さらに「酸化チタン」には表面処理がなされており、紫外線から防御する三段階のラジカル制御技術を採用しています。



特長  
5

## JIS K 5675屋根用高日射反射率塗料(2種1級)取得

スーパーパラサーモシリコンは、強力な結合を持つシリコン樹脂により高耐久性を発揮します。全ての標準色でJIS K 5675(2種1級)を取得しています。高日射反射率の確保と高耐久性を示します。

(右表は試験の代表規格)

### ●要求品質

		低明度領域	中明度領域	高明度領域
判断基準	明度L*値	40.0以下	40.0<L*値<80.0	80.0以上
	近赤外波長域日射反射率(ρIR)	40.0≤ρIR	40.0<ρIR<80.0	80.0≤ρIR
種類	2種	弱溶剤、溶剤系塗料		

試験項目		1級	2級
促進耐候性	照射時間	2500時間	1200時間
	光沢保持率	80%以上	80%以上
屋外暴露耐候性	2年間	塗膜に割れ、剥がれ及び膨れがなく、試料と見本品との変色の程度を目視によって比較し、見本品の色変化と試料の色変化とが大差なく、更に、近赤外波長域の日射反射率保持率の平均が80%以上である。	
		光沢保持率が60%以上で白亜化の等級が1又は0である	光沢保持率が40%以上で白亜化の等級が2,1又は0である

特長  
6

## グリーン購入法

スーパーパラサーモシリコンは「特定調達品目」の「判断の基準」を満たすグリーン購入法適合品です。

グリーン購入法適合品は、建物の屋上・屋根等において、金属面等に塗装を施す工事に使用され、屋外曝露耐候性試験で近赤外波長域の日射反射率保持率が平均80%以上であるものが該当します。具体的には、JIS K 5675(屋根用高日射反射率高塗料)を取得している製品です。

### ●グリーン購入法とは

国等の各機関が、環境への負荷の少ない物品の調達を促進することを定めたもので、環境にやさしく持続的発展が可能な社会の構築を図る目的で制定されました。

環境省の環境物品等の調達の推進に関する基本方針には、「高日射反射率塗料」については、JIS K 5675に適合する資材は、本基準を満たす。」との記載があります。

## 用途

- 工場、倉庫などの屋根
- 戸建ての一般住宅屋根
- 体育館、仮設住宅プラント、畜舎、車庫などの屋根



# 製品構成

品種	製品名	色	荷姿・容量	成分組成
上塗り	スーパーパラサーモシリコン	22色※①	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)※②	2液弱溶剤シリコン樹脂
窯業用下塗り 金属用下塗りⅠ	エポラオールプライマー	遮熱ホワイト※③	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂(遮熱タイプ)
		グレー、赤サビ、黒サビ	4kgセット(A液:3.5kg B液:0.5kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
窯業用下塗り	エポラ浸透遮熱プライマー	淡グリーンクリアー	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤エポキシ樹脂
金属用下塗りⅡ	エポラ#1遮熱プライマー	淡ブルー	16kg	1液弱溶剤エポキシ樹脂
金属用下塗りⅢ	エポラ#3プライマー	白	16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg)	2液溶剤エポキシ樹脂
特殊下塗り	塩ビ鋼板用プライマー	茶色	12.6kgセット(A液:12kg B液:0.6kg)	2液溶剤特殊ウレタン樹脂
金属用下塗りⅡ	パラサーモシールド 金属プライマー	ホワイト	17kgセット(A液:15kg B液:2kg)	2液弱溶剤特殊エポキシ樹脂
金属用下塗りⅢ	パラサーモシールド Gプライマー	ホワイト	16.5kgセット(A液:15kg B液:1.5kg)	2液溶剤エポキシ樹脂
窯業用下塗り	パラサーモシールド スレート用シーラー	クリアー	15kg	1液水性カチオン樹脂
中塗り	パラサーモシールド中塗	乳白色	15kg	1液水性アクリル樹脂
希釈剤	NT塗料用シンナーA	—	16ℓ	—
	エポラ#3シンナー	—	16ℓ、4ℓ	エポラ#3プライマー用
硬化促進剤	弱溶剤トップ硬化促進剤※④	—	1kg	上塗りに硬化促進剤
特殊添加骨材	PSパウダー	—	16kg(4kg×4袋)	エポラオールプライマー厚膜仕様用 特殊セメント骨材

※①:特注色につきましては最寄りの営業所にお問い合わせください。

※②:B液には「猛暑型B液」もあります(35℃以上の場合)。

※③:遮熱タイプのため割高になります。

※④:弱溶剤トップ硬化促進剤はA液14kgに対して100g添加してください。

## ●各下塗りの適用下地

**窯業用下塗り**:薄形化粧スレート、厚型スレート、波形スレート、コンクリート、モルタル

**金属用下塗りⅠ**:カラータタン、トタン、ガルバリウム鋼板、アルミ板、ステンレス鋼板

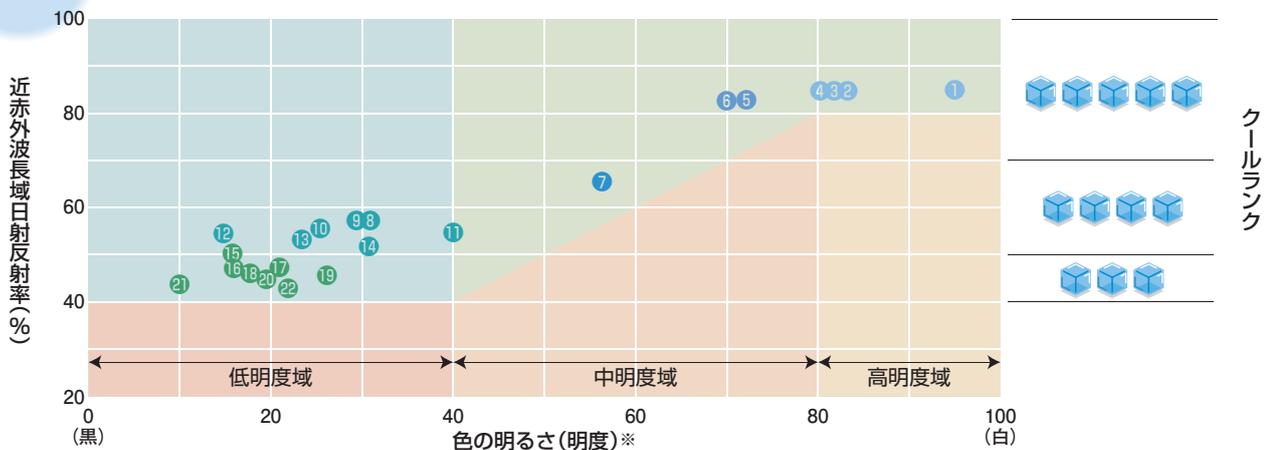
**金属用下塗りⅡ**:カラータタン、トタン

**金属用下塗りⅢ**:ガルバリウム鋼板、アルミ板、ステンレス鋼板

詳細は「エポラオールプライマー」「エポラ#1遮熱プライマー」などのカタログをよくお読みになり、正しくご使用ください。

## 明度と近赤外波長域の日射反射率

### ●近赤外波長域の日射反射率(%)



色名	明度	日射反射率		色名	明度	日射反射率	
		近赤外域	全波長			近赤外域	全波長
① エコホワイト	96.3	86.5%	88.7%	⑫ エコガーネットレッド	16.0	53.7%	27.9%
② エコベールグリーン	82.1	86.2%	72.6%	⑬ エコスレートブラウン	23.1	52.8%	28.4%
③ エコベールブルー	81.8	86.1%	72.4%	⑭ エコマウスグレー	31.2	51.6%	28.8%
④ エコライトグレー	81.2	85.4%	72.0%	⑮ エコディーブブルー	17.1	49.7%	25.8%
⑤ エコソフトグレー	72.0	83.4%	63.1%	⑯ エコチェスナット	17.7	48.6%	24.7%
⑥ エコサンドベージュ	70.3	83.1%	62.2%	⑰ エコクラウドグレー	21.1	48.0%	25.2%
⑦ エコベージュ	58.1	67.0%	48.1%	⑱ エコスレートブラックネオ	18.8	47.1%	24.9%
⑧ エコブリックレッド	31.0	58.7%	35.9%	⑲ エコグラスグリーン	27.2	47.0%	24.8%
⑨ エコマリンプルー	30.0	58.7%	30.9%	⑳ エコココナッツネオ	19.5	46.3%	24.8%
⑩ エコラシットレッド	26.7	56.2%	32.4%	㉑ エコブラックネオ	10.0	43.8%	22.2%
⑪ エコグレー	39.8	54.5%	32.2%	㉒ エコオリーブネオ	21.3	42.7%	23.4%

●上記日射反射率の数値は、下塗りにパラサーモシールド金属プライマー、中塗りにパラサーモシールド中塗を使用した場合の値です。近赤外域は近赤外波長域(780~2500nm)の値となります。また、全日射は全波長域(300~2500nm)の値となります。

●日射反射率の数値は、塗装仕様や塗装条件、測定機器の種類などにより変動します。

※明度の数値は測定方法によって大きく変わる場合があります。当社ではSCE方式(正反射光を含まない測定方法)による数値としています。

# 標準塗装仕様

## 上塗りの塗装仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
上塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スーパーパラサーモシリコン A液……………14kg</li> <li>●スーパーパラサーモシリコン B液……………2kg</li> <li>●NT塗料用シンナーA(刷毛・ローラー)……………0~1kg</li> <li>● // // (スプレー)……………0~2kg</li> </ul>	2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m <sup>2</sup> /セット	3時間以上 72時間以内

- 上塗りは、夏季は暑さで可使時間が短くなり2時間程度になります。夏季はA液とB液の攪拌後、必ず「2時間以内」に使い切るようにしてください。35℃以上の場合は「猛暑型B液」をご使用ください。
- 冬季は硬化を速めるために弱溶剤トップ硬化促進剤を使用することも可能です。使用方法は、上塗A液14kgに対して、弱溶剤トップ硬化促進剤100g、秤で計量し添加後、攪拌します。続いてB液を配合し、電動攪拌機で十分に攪拌してご使用ください。

### ①窯業系(薄形化粧スレート、スレート屋根、厚形スレート屋根)屋根塗替仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗浄やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。</li> <li>●水洗い後は十分に下地を乾燥させてください。</li> </ul>						
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エポラ浸透遮熱プライマー A液……………14kg</li> <li>●エポラ浸透遮熱プライマー B液……………2kg</li> </ul>	1回~2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.15~0.3	53~106 m <sup>2</sup> /セット	3時間以上 72時間以内
上塗り	●上塗りは「上塗りの塗装仕様」をご参照ください。						

- 下地の劣化が激しく下塗りの吸い込みが多い場合は、施工間隔(2~72時間)をあけて、下塗り2回目を施工してください。
- 下塗りの使用量が多い場合、乾燥が遅くなります。乾燥していることを確認して、上塗りを施工してください。
- エポラマイルドプライマー Sもご使用いただけます。仕様は上記仕様と同じです。

### ②窯業系(薄形化粧スレート、スレート屋根、厚形スレート屋根)金属系下地(カラートタン、ガルバリウム鋼板、アルミ板)屋根塗替仕様

工程	材料の調合 (重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
窯業系 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗浄やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。</li> <li>●水洗い後は十分に下地を乾燥させてください。</li> </ul>						
金属系 下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。</li> <li>●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。</li> <li>●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナーや高圧水洗浄などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。</li> </ul>						
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エポラオールプライマー遮熱ホワイト A液…14kg</li> <li>●エポラオールプライマー遮熱ホワイト B液…2kg</li> </ul>	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> <li>●スプレー</li> </ul>	6時間以内	0.13~0.16	100~123 m <sup>2</sup> /セット	3時間以上 72時間以内
上塗り	●上塗りは「上塗りの塗装仕様」をご参照ください。						

- エポラオールプライマーは多少の吸い込みに対応できるように顔料を少なく設計しています。このため、施工方法や使用量、希釈量、下地の状態によりムラに見える場合があります。特に窯業系下地で塗料が下地に多く吸い込まれる場合、隠れ性が悪くなります。
- ダブルリフレクションシステムを使用しない場合、エポラオールプライマーは遮熱ホワイト以外もご使用いただけます。
- 薄形化粧スレートの重なり部分は縁切りを行ってください。漏水の原因となります。
- 塗料粘度が上昇する冬季や乾燥が著しく速い猛暑時で下塗りが塗りにくい場合は、NT塗料用シンナー Aを5%以内を目安にご使用ください。
- 金属屋根の補修塗り、下塗りには1液タイプの「エポラ#1プライマー-N」もご使用いただけます。
- 新設のガルバリウム鋼板は油分が付着している場合がありますので、脱脂と目粗しを行ってください。
- 無塗装ガルバリウム鋼板へのご使用については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 金属屋根の折り曲げ部、凸部などは、塗膜が薄くなりがちです。事前に補修塗りを行ってください。

### ③塩ビ鋼板屋根塗替仕様 「塩ビ鋼板塗替え工法カタログ」をよくお読みになり正しくご使用ください。

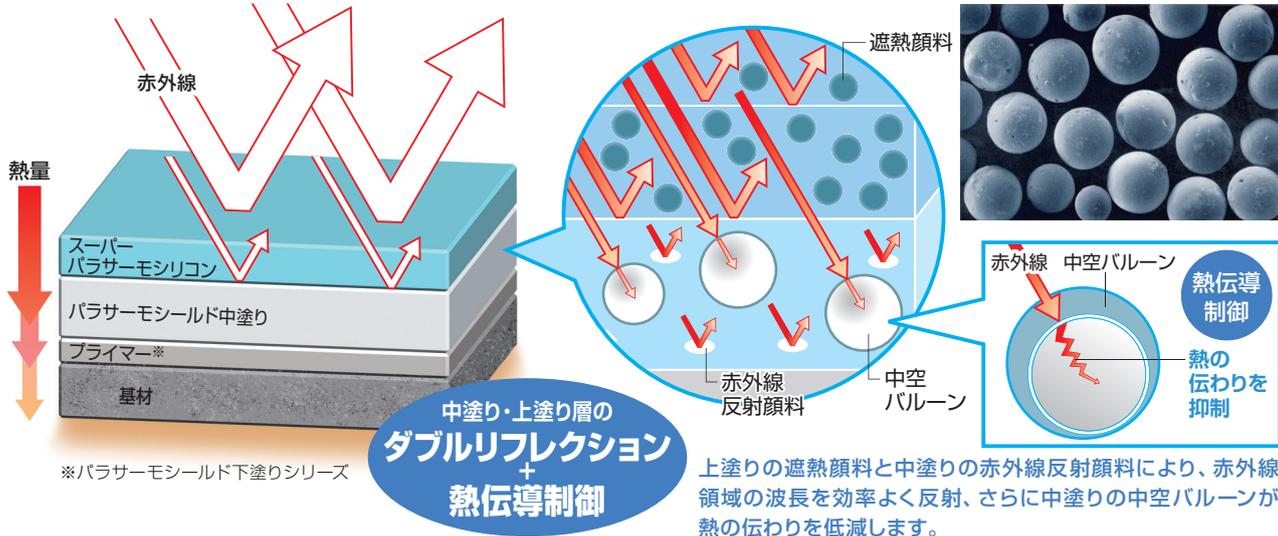
工程	材料の調合 (重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	1回当たりの 塗り面積	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●下地のチョーキング粉は高圧水洗浄で除去してください。チョーキングが激しい場合、洗浄ができない場合はマジックロンなどでチョーキング層を除去してください。</li> <li>●水洗い後は1日以上乾燥させてください。雨や露などで濡れている場合も十分に乾燥させてから施工してください。</li> </ul>						
下塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>●塩ビ鋼板用プライマー A液……………12kg</li> <li>●塩ビ鋼板用プライマー B液……………0.6kg</li> </ul>	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ローラー</li> <li>●刷毛</li> <li>●スプレー</li> </ul>	—	0.1~0.12	105~126 m <sup>2</sup> /セット	2時間以上 6時間以内
上塗り	●上塗りは「上塗りの塗装仕様」をご参照ください。						

- 下塗りはローラーでしごくように施工してください。しごいて施工することでチョーキング塗膜を溶解・復元し、プライマーに混合させます。
- 下塗りは厚く塗りすぎないように使用量を厳守してください。塗料のたれ、たまりは剥離の原因となります。
- 下塗りと上塗り1回目までは同一日に施工してください。施工間隔を延長しますと上塗りとの密着が悪くなります。下塗りと上塗りとの施工間隔を厳守してください。
- 外気温が30℃以上の場合は、下塗り施工後1時間以内に上塗りを施工してください。

# パラサーモシールド 遮熱・断熱・防音トリプルシステム

中空バルーンを配合した特殊中塗り層が、外部からの熱を遮断。スーパーパラサーモシリコンと組み合わせることで、より確実な熱低減効果を発揮すると共に防音効果も期待できます。（※防音効果は折板屋根に限る）

航空機・ロケット用塗料の分野で一部採用されている技術を応用し、居住環境、作業環境の改善を実現するシステムです。



上塗りの遮熱顔料と中塗りの赤外線反射顔料により、赤外線領域の波長を効率よく反射、さらに中塗りの中空バルーンが熱の伝わりを低減します。

工程	材料の調合 (重量比)	塗り回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	1回当たりの塗り面積	施工間隔 (23℃)	
素地調整	窯業系下地	●表面の塵、ホコリ、コケや既存塗膜の浮き、ハガレなどは、高圧水洗浄やワイヤーブラシなどで完全に除去してください。 ●水洗い後は十分に下地を乾燥させてください。						
	金属系下地	●フクレ、割れ、浮きなどの劣化塗膜はケレン工具を用いて除去してください。 ●サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃してください。 ●被塗面の表面の塵、ホコリ、油脂類はシンナーや高圧水洗浄などで完全に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。						
補修塗り	●鋼板屋根、ガルバリウム鋼板などの金属屋根で補修塗りが必要な場合は、下塗り工程に準じて適量を使用してください。可使時間と施工間隔は下塗り工程と同じです。							
下塗り	鋼板、トタン、カラートタンの場合	●パラサーモシールド金属プライマー A液 ……15kg ●パラサーモシールド金属プライマー B液 ……2kg ●NT塗料用シンナーA ……0~0.8kg	1回	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	6時間以内	0.2~0.25	68~85 m <sup>2</sup> /セット	16時間以上 72時間以内
	ガルバリウム鋼板、ステンレス鋼板、アルミ板の場合	●パラサーモシールドGプライマー A液 ……15kg ●パラサーモシールドGプライマー B液 ……1.5kg ●エポラ#3シンナー ……2~4kg				0.2~0.25	66~82 m <sup>2</sup> /セット	6時間以上 72時間以内
	厚形スレート瓦などの塗替えの場合	●パラサーモシールドスレート用シーラー ……15kg (現液のまま使用)				0.15	100m <sup>2</sup> /缶/回	4時間以上 72時間以内
中塗り	●パラサーモシールド中塗 ……15kg ●水 ……0~0.3kg	1回注) 2回注)		—	0.3	50m <sup>2</sup> /缶/回	4時間以上 72時間以内	
上塗り	●上塗りは「上塗りの塗装仕様」をご参照ください。							

注) 金属系下地: 1回塗り、窯業系下地: 2回塗り(0.3kg/m<sup>2</sup>×2回)

- 「パラサーモシールドスレート用シーラー」と一般の水性塗料を混合しますとゲル化、フツ発生などの原因となります。施工の前後には、使用器具を水で十分に洗浄してください。
- 薄形化粧スレートの重なり部分は縁切りを行ってください。漏水の原因となります。
- ガルバリウム鋼板の補修塗り、下塗りにはエポラ#3プライマーもご使用いただけます。
- 無塗装ガルバリウム鋼板へのご使用については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 新設のガルバリウム鋼板は油分が付着している場合がありますので、脱脂と目直しを行ってください。
- 「省エネ屋根用遮熱・断熱・防音塗料パラサーモシールド」のカタログをよくお読みになり正しくご使用ください。



# スーパーパラサーモシリコンの施工上の注意事項

(製品構成や標準塗装仕様に記載の注意事項も必ずお読みになってください)

## ■遮熱性能について

- 遮熱性能は、明度と色相により変わります。既存塗膜の色が塗り替え予定の色より薄い場合、遮熱効果が得られない場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 建物の形状、構造、基材(素材)や既存塗膜の明度と色相によっては十分な遮熱効果が得られず室内温度低減効果が期待できない場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。

## ■下地調整について

- ①漏水がある場合や予測される場合は、下地調整前に確認し、適切な対策を行ってください。
- ②高圧水洗浄やスプレー施工では、周辺の状態をよく確認し十分に養生を行ってください。
- ③高圧水洗浄(10MPa以上)ができない場合はホースで水を流しながらワイヤーブラシなどを用いて塵、ホコリ、藻、コケ、かび類を完全に除去してください。
- ④水洗い後は1日以上乾燥させてください。各工程では、雨や露などで濡れている場合は十分に乾燥させてから施工してください。
- ⑤油分が付着している場合は溶剤拭きを行ってください。
- ⑥洗浄後、瓦の破損、役物の釘浮きなどの確認を行い、補修が

## ■塗料と施工について

- ①本製品は標準塗装仕様に従って施工してください。標準塗装仕様はあくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可使時間など多少幅を生じることがあります。
- ②施工当日から施工後翌日まで降雨、降雪が予想される場合や気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けてください。塗膜が未乾燥状態で降雨や夜露などにあたると曇りけや白化などの原因につながります。特に冬季は乾燥に時間がかかりますので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。気温が5℃以上でも、気温が低い場合は塗膜の乾燥に時間がかかりますので施工間隔が変わります。
- ③山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに施工を終了し、十分に乾燥時間を確保してください。光沢低下、フクレ、割れ、ハガシの原因になります。
- ④金属の下地が見えている場所や、サビが生じている場所は、ケレン後、各種金属に適合したプライマーを施工してください。
- ⑤無石棉スレート板に施工する場合は、反りやひび割れ、フクレなどが発生する場合があります。
- ⑥本製品はいびし瓦、粘土瓦(素焼き瓦、いびし瓦、釉薬瓦など)への施工はできません。モニエル瓦、スカンジヤ瓦などの乾式瓦は専用プライマーをご使用ください。
- ⑦本製品は、塩ビ鋼板や乾式コンクリート瓦などにもご使用いただけます。専用プライマーがありますので最寄りの営業所にお問い合わせください(ただし、これらの仕様は当社の特別講習を受講された方への限定工法となります)。
- ⑧塗料は必ず標準塗装仕様の規定割合で調合し、電動攪拌機などで十分に攪拌してから施工してください。
- ⑨塗料以外の他の塗料との場合は絶対に混ぜないでください。また、アルコールや水の混入は絶対に避けてください。
- ⑩スーパーパラサーモシリコン、エポラ#1プライマー-N、エポラオールプライマー、パラサーモシリコン金属プライマーの希釈は「NT塗料用シンナー-A」をご使用ください。
- ⑪塗料の希釈率は標準塗装仕様の範囲内で試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。希釈率は色や施工条件により変化しますので、ご了承ください。
- ⑫上塗り塗料の色相によっては2回塗りでは隠れない場合があります。その場合は塗り回数を増やしてください。

## ■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器など適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を十分にを行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器(取っ手を含む)はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で少なくとも5分以上洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の手当てを受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師

- 無塗装ガルバリウム鋼板は、素材自体が優れた熱反射性を持っています。無塗装ガルバリウム鋼板へのご使用については、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 一般屋根用塗料とニットの屋根用遮熱塗料パラサーモシリコンの日射反射率の差は、濃色の同色であると大きくなる傾向があります。色相により、一部例外があるため、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 遮熱効果は、塗膜上に汚れが堆積すると遮熱性能が低下し

- ③必要な場合は適切に処理してください。
- ④発錆物は、ワイヤーブラシやサンドペーパー、電動工具などで入念にサビを除去し、時間をあけずに金属用プライマーを塗り塗ってください。
- ⑤改修工事の場合、既存塗膜の種類や劣化状態を確認し、健全な状態であり、しっかりと付着していることをテープテストにて確認してください。
- ⑥改修工事の場合、既存塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、既存塗膜を侵しリフティング(塗膜の手すり)やフクレが発生する場合がありますので、既存塗膜を必ず確認の上で塗装仕様を決定してください。塗装仕様については、最寄りの営業所にお問い合わせください。

- ⑬「塩ビ鋼板用プライマー」は夏場の高温多湿の環境下では、B材を混合しなくても、A材だけでも開封後は短時間で硬化(ゲル化)します。そのため開封後はすみやかにB材を混合し、ご使用ください。
- ⑭スーパーパラサーモシリコンは特殊顔料を使用しているため、塗料表面に色が浮きやすい傾向があります。十分に攪拌してご使用ください。
- ⑮塗料を使用する前や小分けする場合には、塗料を十分に攪拌して均一な状態にしてから計量し、ご使用ください。色ムラなどの原因となります。
- ⑯塗装仕様の規定の使用量が塗られていない場合、本来の塗膜性能が発現しないことがありますので規定量を守って施工してください。早期の耐候性低下や変色、剥離などにつながります。
- ⑰上塗の希釈量や使用量が多すぎたり、少なすぎたりしても、色相が変化して見えることがあります。特に上塗り1回では使用量が足りず、色相が変化して見えます。同様に、希釈剤の希釈量や使用量が施工部位により変わると、色相が変化して見ることがあります。
- ⑱冬季には、スーパーパラサーモシリコンの硬化を速めるために弱溶剤トップ硬化促進剤を使用することも可能です。弱溶剤トップ硬化促進剤を使用すると可使時間が短くなります。ただし、攪拌不足の場合、塗膜の硬化が場所によって異なります。また、攪拌不足により発生することがあります。弱溶剤トップ硬化促進剤は、次工程までの施工間隔を短縮する目的で使用しないでください。
- ⑲本見本板の仕様では上塗りの可使時間を「6時間以内(23℃)」としていますが、夏季は暑さで可使時間が短くなり、2時間程度になることもあります。夏季はA液、B液の攪拌後、必ず2時間以内で使い切るようにしてください(35℃以上の場合には「猛暑型B液」をご使用ください)。
- ⑳夏季、炎天下でエアレスホース内に塗料を入れたまま放置しないてください。詰まりの原因となります。
- ㉑施工間隔(塗り重ね時間)は守ってください。施工間隔は気象条件などにより変わります。各工程において、硬化が不十分な状態で施工するとリフティング(塗膜の手すり)を起こしたり、施工間隔を過ぎると付着性が悪くなったりします。
- ㉒瓦葺や波形トタン屋根などに施工する場合、山の部分や折り

- ます、他にも立地環境や建物の屋根材の種類、屋根勾配、構造などが起因する場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 遮熱塗料の全面施工と部分施工では遮熱効果が異なります。部分施工では未塗装部分が影響し遮熱効果が得られない可能性があります。ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。

- ⑩塩ビフィルム層に割れ、ハガシなどのある場合は、3種ケレンによりサビや浮き膜を除去してください。
- ⑪塩ビフィルム層がなくなっている部分やサビがある箇所は、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで表面をきれいにし、脱脂後、時間をあけずにエポラオールプライマーで処理してください。
- ⑫下地にシリコン樹脂塗料やフッ素樹脂塗料、無機塗料、アルミ使用塗料、光触媒塗料が施工されている場合、付着性などの点より注意が必要です。最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ⑬下地の種類が不明な場合は、下塗り塗料の選定および試験施工を行ってください。

- ⑫曲げ部分などは塗料が付きにくいので、十分な膜厚を確保することができない可能性があります。先に拾い塗りをするなどして全体的に均一な膜厚になるよう施工してください。
- ⑬上塗り1回目の施工後、置換泡が発生することがあります。プライマーを2回塗布することで、置換泡を抑制することができます。また、上塗り1回目の施工で置換泡が発生した場合は、乾燥前にローラーで表面を軽く押さえることで対策することも可能です。
- ⑭ローラーや刷毛、スプレーなど施工方法が混在する場合、使用量、表面刷毛などが異なることで若干色相や仕上がりに差が生じることがあります。
- ⑮ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように行ってください。ローラー目の方向により色や仕上がりが異なって見える場合があります。
- ⑯標準色以外をご指定された場合、褪色が早い場合や、塗膜性能が低下する可能性があります。
- ⑰本製品は、特殊顔料を使用していますので、経年劣化による褪色の傾向が一般塗料と異なる場合があります。経年で若干、赤味を帯びることがあります。
- ⑱シーリング面への施工は極力避けてください。塗膜の汚れや割れの原因となります。
- ⑳使用器具は、使用後すみやかにラッカーシンナー(もしくはウレタンシンナー、アクリルシンナー)で洗浄してください。
- ㉑屋根材の重なり部分に塗料がたまり、漏水の原因になりますので、必ず縁切りを行ってください。
- ㉒施工後の塗膜は滑りやすくなりますので、作業は充分注意して行ってください。施工後は、消雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- ㉓詳細は「省エネ屋根用遮熱・断熱・防音塗料パラサーモシリコン」[「エポラオールプライマー」]「エポラ浸透遮熱プライマー」[「エポラ#1プライマー-N」]「塩ビ鋼板塗替え工法カタログ」などの個別カタログをよくお読みになり正しくご使用ください。ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- ㉔塗料は用途・用法を守り、上述カタログの仕様や注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

- の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち石鹸と水で充分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- エポラ#1樹脂系塗料は体質により皮膚障害などの感作を受ける場合があります。医師の指導を受け必要な措置を講じてください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い冷暗所で保管してください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。特に夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。
- 水性塗料は5℃以下で保管すると凍結の恐れがあります。一度凍結した塗料は造膜不良により、仕上がりに不良、物性低下、割れなどの不具合の原因となります。
- 塩ビ鋼板用プライマー、各種上塗りのB液は水分と反応し固まります。保管中や休憩中は必ずフタをして密栓してください。

- い。また、缶から出して使用した塗料は、元の缶に戻したり、未使用の塗料と混合して保管しないようにしてください。保管中に固まる場合があります。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品は、揮発性の化学物質(有機溶剤など)を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施工、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート(SDS)をご参照ください。

\*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

\*本記載の仕様は標準仕様です。塗装条件により、施工間隔などは変化します。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

# 日本特殊塗料株式会社

## ■お問い合わせ先

- |                                    |                                 |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2      | ☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323 |
| 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10     | ☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739 |
| 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12      | ☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124 |
| 大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12     | ☎(06)6386-8492 FAX(06)6386-3560 |
| 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 | ☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256 |
| 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726  | ☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762 |

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

塗装仕様等、使い方の詳細情報は  
こちらをご確認ください。  
設計・工事監理者および工事請負  
者は、必ずご確認ください。

